

掲示板のことば

問いを持つ

ものを

人間と

言うのではない

問われ続ける

存在を

人間と呼ぶのだ

2024. 11

仏教を学んでおられますと、よく、「問いを持って」とか「教えを学ぶことによって問いを持つ者となる」というような言葉をお聞きすることがあります。

仏の教えに照らされることによって問いが明らかになるのです、などと、私もお話ししているように思います。

哲学でも、「人間は考える葦である」とか「我思う、ゆえに我あり」などと、人間は思い考える者、つまり問いを持つ者であると言われていました。

でも、問いを持つということが人間であること条件ではないですよ。問いを持たない者は人間とは言わないのか、とも受け取れますし・・・。

いつでしたか、本を読んでおりましたら、人間は生まれた瞬間に問いを持つようになるのだというようなことを見た記憶がありますが、さてどうでしょう？

私は、問われ続ける存在が人間なのだと思うのです。

もちろんそれは「縁」です。言葉であったり、いのちであったり、自然であったり、教えであったり・・・、それらに触れることで、何かしら身に受ける事柄があります。それらは、この私という存在を問いかけ、あなたは誰なのかと問いかけます。問われているという事実が、私が人間であるということの確かな証となるのです。問われ続けていた事実気づくことが大切なのだと思います。

問うことに先立って、問われて続けていた事実が私でありました。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹